

令和4年度学校法人のびる学園

幼保連携型認定こども園のびる幼稚園事業報告

1、令和4年度認可定員と利用者数

表：令和4年度認可定員と利用者の推移

学年（学級数）	認可定員	4月	9月	3月
年長（2）	50人	53人	53人	53人
年中（2）	50人	54人	53人	54人
年少（2）	50人	49人	50人	49人
満三歳（1）	20人	0人	13人	15人
2歳児（1）	12人	9人	9人	9人
1歳児（1）	6人	5人	6人	6人
0歳児（1）	3人	1人	2人	3人
合計	191人	171人	186人	189人

新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの入園説明会を行うなどとして、入園募集告知等を遅れることなく進めることが出来た。結果、年度末の利用者数はほぼ満員の189人となった。2名の定員割れがあったが、転勤等による転居による退園があったので致し方無いと考えられる。また、次年度の募集活動に関しても、年度内に遅滞なく実行した。

2、保育計画及び教育計画

計画を綿密に設定し、教育活動内容の向上に努めた。しかしながら、両親の共働き世帯が幼稚園部にも増加し、職員の就労時間を保育への従事に割かなくてはならず、全ての職員に

よる研修、会議による教育目標の策定や共通認識への理解は年々難しくなっていると実感することとなった。会議録の共有等を行っているが、それに代わるもので職員負担につながらないものを構築する必要性も再認識することになった。しかしながら、県内の施設で発生した事故と不適切保育を受け、シフトの範囲内ですべての職員に前記の事項を防止するための研修を行うことが出来た。また、県下一斉に行ったオンライン研修においては、保護者の協力もあり、早めに保育を終了し研修を受けることが出来た。

当年度は、残念ながら園バスの事故が発生してしまった。運行委託業者と協力し再発防止の検討を行い、改善に努めた。園児に怪我人が出てしまったことを深く反省し、事故を未然に防ぐこと、発生した場合の通報方法等をマニュアル化した。

3、学校評価委員

当年度も引き続き学校評価委員の先生方に園の保育を観覧してもらい、改善点など意見を頂いた。

4、設備の整備及び管理

昨年度に引き続き、本年度も来るべき大規模修繕等に備え特定預金に設備整備費を積み立てた。管理においては職員による設備定期点検及び業者による遊具点検を行い、施設・設備を適正に使用することに務めた。

当初の計画にあった通り低年齢児向けの遊具を増設した。また、怪我をしそうな遊具等の箇所にはウレタンを吹き付ける施工を行った。

5、人材育成及び採用

昨今の人材不足は、深刻な状況と言わざるを得ない状況であり、本園の採用計画実行は困難を極めている。当年度は、人材紹介料に投じる額が多かったため、昨年度から利用している求人広告や採用専用サイトの新規構築を行った。昨年度同様、本年度中に次年度入職予定2名常勤採用を行うことが出来た。

6、財務運営および運営管理

園児管理システムはほぼ順調に稼働し、利用料等の計算は簡素化された。

当年度は物価高騰により経費が増えたが、物価高騰に対する補助金が支給されたので、保護者負担は、個人購入物品等の値上げに留まった。しかしながら、当年度中に次年度の負担金に関しては、値上げを検討し、行政各所への申請を行った。